

来て!見て!知って!文化財

長島記念館 一心に響く美と空間—

小八林1022 ☎0493-39-2025

大里地域の小八林に立地する長島記念館は、埼玉銀行頭取・会長として埼玉県経済界の発展に貢献した故長島恭助氏の生家であり、平成6年、長島記念財団により記念館として整備されました。

記念館の敷地面積は1,800坪と広く、石積みの蔵と白壁の長屋門が敷地の前面に位置し、中央には江戸時代に建造された母屋が残されており、敷地内の北側には雑木林があります。庭園には枯山水様式が用いられ、石灯籠や植栽の配置が心を和ませてくれます。母屋には、レトロな生活用品などが展示され、その当時の暮らしに思いを馳せることができます。

正門右側と奥側に位置する蔵は大正9年に建造され、その外面は旧帝国ホテルの表玄関と同質の大谷石で造られています。奥の蔵は、倉庫としてだけでなく、客間として使用され、多くの

財界人がこの部屋を訪れたと言われています。現在、蔵は展示室としてリニューアルされ、長島氏が生前収集した、日本美術史を代表する作家達の作品が展示されています。



日本画では、川合玉堂ぎょくどうや横山大観、小林古径こけいなど著名画家による作品が展示され、近代に継承された穏やかな和の美を感じることができます。洋画では、森田恒友らと春陽会を設立し、秀逸な文筆家としても知られる中川一政の名作や、ポスト印象派の影響を受けながら独自のスタイルを開拓した梅原龍三郎の人物画などが収蔵されています。その他、渋沢栄一の書や、名刀「月山」などの貴重な名品もあり、美のエネルギーが心に響きます。

◆江南文化財センター ☎048-536-5062 (山下祐樹)